

●札幌市温暖化対策推進計画における中期目標の達成に向けた主な取組結果

取組内容	令和2年度の結果
(1) 家庭	
①高断熱・高気密住宅の普及【目標削減量：約46万t-CO ₂ 】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
札幌版次世代住宅基準に適合する戸建新築工事や既存住宅の省エネルギーリフォーム工事に対する補助制度の運用などにより、住宅の高断熱高気密化を普及促進します。	○『札幌版次世代住宅補助制度』にて、札幌版次世代住宅を新築した市民に対して補助を行いました。 【補助実績】33件[3月31日時点] ○『札幌市住宅エコリフォーム補助制度』にて、省エネルギー工事（窓、断熱）を行った市民に対して補助を行いました。 【補助実績】146件[3月31日時点]
高断熱高気密住宅のモデル住宅を公開展示などによって普及啓発を行います。	○札幌版次世代住宅の周知を図るため、オンラインで開催した環境広場バーチャルブースでPRを実施しました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
集合住宅の高断熱高気密化に向けた取組を検討します。	○市営住宅で実施した「集合住宅の高断熱化モデル改修効果検証」の結果を公表しました。 ○賃貸住宅の高断熱化を図るための普及啓発パンフレットを作成しました。 ○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件 ○建築主、施工業者の双方に光熱費等の削減効果をわかりやすく示す「建築物の光熱費の見える化ツール」を作成し、公開しました。 ○地場の工務店や設計事務所を対象とした技術習得のための講習会を開催しました。
効率的なエネルギーシステムを導入するモデル地区整備の支援について検討します。	※事業を実施していく中で、当該取組が資する目的が変化したため、より適当である「(6)③エネルギーネットワークの強化」へ記載

取組内容	令和2年度の結果
②省エネ・再エネ機器の普及【目標削減量：約124万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
エネルギーの見える化によるスマートな省エネの取組を推進するため、見える化機器の普及を促進します。	○札幌市環境プラザの窓口で、市民に対して「電力消費量の見える化機器」の貸出を行いました。 【貸出実績】なし
太陽光発電などの再エネ機器や、燃料電池、コージェネレーションなどの導入に対する補助制度の運用により、省エネ再エネ機器の普及を促進します。	○『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、再エネ・省エネ機器を導入する市民に対して補助を行いました。 【補助実績】 太陽光発電：317件（2,078kW） エネファーム：73件 木質バイオマスストーブ：65件
省エネ再エネ機器に関する総合窓口などを活用して、機器導入に係る相談、補助制度や使い方についての情報提供を強化します。	○札幌市環境プラザにて、身近な生活の環境についての疑問から、環境問題や環境教育といった環境に関連する相談対応を行いました。 職員による環境相談：開館中対応 専門の相談員による環境相談：毎月第2・4木曜日（13:00～16:00） 【相談実績】38人 ○新型コロナウイルス感染症の影響のため、予定していた各種業界団体が実施する会議等での『再エネ省エネ機器導入補助制度』の説明会を中止しました。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、『再エネ省エネ機器導入補助制度』の募集期間外に環境広場さっぽろが開催
○今後検討が必要な取組についての状況	
太陽光発電などの再エネ機器やHEMSなどの省エネルギーシステムの設置を促す義務的的制度について調査研究し、施策に反映します。	○他都市の取組などの情報収集を行いました。
太陽光発電設備に関する市民の出資によるファンドの設立支援を検討します。	○他都市の取組などの情報収集を行いました。
賃貸共同住宅などへの高効率機器の普及促進に向けた取組を検討します。	○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件《再掲》 ○建築主、施工業者の双方に光熱費等の削減効果をわかりやすく示す「建築物の光熱費の見える化ツール」を作成し、公開しました。《再掲》 ○地場の工務店や設計事務所を対象とした技術習得のための講習会を開催しました。《再掲》

取組内容	令和2年度の結果
③省エネ行動の実践【目標削減量：約32万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
それぞれのライフスタイルに合わせた節電などの環境配慮行動の実践を促進します。	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「札幌市うちエコ診断」は実施を見送りました。
家庭、町内会、地域単位などさまざまな繋がりでの環境活動やクールシェア、ウォームシェアなどの取組を支援します。	○町内会や児童会館、小・中・高校などに対して、省エネや持続可能な開発目標（SDGs）に関する講演や『出前講座』を行いました。 【件数実績】39件（2151名）
エコライフレポートや環境教材を活用して、子どもたちの環境意識の醸成を図ります。	○市立の全小中学校に『エコライフレポート』を配付し、夏休み・冬休みにおけるエコ行動の取組を推進しました。 【レポート提出枚数】 合計249,851枚 取組率：夏94.0%、冬93.9% ○『札幌市環境副教材』を年次改訂し、市立全小中学校の新1、3、5年生に配付しました。 ○『さっぽろこども環境コンテスト』を、これまでのステージ発表形式から作品募集形式に変更して開催し、小中学生が実施した環境保全活動を発表・周知する場を創出しました。 【応募作品数】 10作品 ○市内の子ども会及び児童会館に通う小学生を対象に、環境教育・SDGsワークショップを実施しました。 【ワークショップ参加者数】 30人
○今後検討が必要な取組についての状況	
自主的な環境配慮行動の実践を促すための効果的な手法について検討します。	○『みらいを想う～Think Green～』をキーフレーズに、環境広場さっぽろなどの環境イベントを行ったほか、市民・事業者の視覚へ訴えることにより環境意識を高めることを目的として、パッカー車等ごみ収集車に貼付するステッカー及びマグネットを作成しました。 ○気候変動対策に主体的に取り組む人材の育成を目的としたゼミ・ワークショップ（計13回）を開催しました。 【参加人数】148人
観光などの目的で市内に滞在する人及び行事や催し物などの参加者に対しても、環境配慮行動の実践の促進を検討します。	○「第14回アースデイin円山動物園」に出展し、気候変動やその影響について考えるきっかけとなるような普及啓発を実施しました。

取組内容	令和2年度の結果
(2) 産業・業務	
① 省エネ・再エネ設備の普及【目標削減量：約46万t-CO2】	
○ 目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
太陽光発電などの再エネ機器、燃料電池、コージェネレーションシステムに対する補助制度の運用により、機器の普及を促進します。	○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件《再掲》 ○建築主、施工業者の双方に光熱費等の削減効果をわかりやすく示す「建築物の光熱費の見える化ツール」を作成し、公開しました。《再掲》 ○地場の工務店や設計事務所を対象とした技術習得のための講習会を開催しました。《再掲》
高効率給湯暖房機器やLED照明、BEMSなどの導入に対する補助制度の運用により、機器の普及を促進します。	○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件《再掲》 ○建築主、施工業者の双方に光熱費等の削減効果をわかりやすく示す「建築物の光熱費の見える化ツール」を作成し、公開しました。《再掲》
ごみ埋立跡地などの未利用地を活用した太陽光発電の誘致を促進します。	○これまでに誘致を行った施設について、運用を行いました。
太陽光発電導入促進のため、土地所有者と発電事業者のマッチング制度を推進します。	○札幌市ホームページにて、「土地・屋根貸し」を希望する土地・屋根所有者と、「土地・屋根借り」を希望する発電事業者に対し登録情報の提供を行いました。（実績なし）
○ 今後検討が必要な取組についての状況	
太陽光発電などの再エネ機器やBEMSなどの省エネ機器の設置を促す義務的的制度について調査研究し、施策に反映します。	○他都市の取組などの情報収集を行いました。
CASBEE札幌の改定などを通じて、より環境性能の高い建築物の普及推進を図ります。	○2016年に改定した『札幌市建築物環境配慮制度（CASBEE札幌）』に基づき、建築主の自己評価結果を札幌市ホームページで公表しました。 【届出実績】 件数：86件（Sランク0件、Aランク29件、B+ランク37件、B-ランク20件、Cランク0件） ※Aランク以上は累計262件（2020年度までの目標226件） ○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件《再掲》 ○建築主、施工業者の双方に光熱費等の削減効果をわかりやすく示す「建築物の光熱費の見える化ツール」を作成し、公開しました。《再掲》 ○地場の工務店や設計事務所を対象とした技術習得のための講習会を開催しました。《再掲》

取組内容	令和2年度の結果
②省エネ行動の実践【目標削減量：約49万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
積雪寒冷地特有の運用改善を札幌版省エネ技術として確立し、普及拡大に努めます。	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、『事業者向け省エネルギー技術講座・実地講座』は実施を見送りました。
事業者を対象とした講習会を実施し、事業者のエネルギー使用量削減に向けた取組を支援します。	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、『事業者向け省エネルギー実践セミナー』は実施を見送りました。
電力使用状況の把握・見える化を通じて、市内製造業者におけるエネルギーの効率的利用を推進します。	○「省エネの顧客となる市内事業者」と「省エネの担い手となる市内施工業者」を繋ぐ省エネルギーの総合窓口（令和元年度まで運営事業者に対する支援を実施）にて受注し、3件の省エネルギー施工を行いました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
省エネの取組を促進する手法について検討します。	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、『事業者向け省エネルギー技術講座・実地講座』は実施を見送りました。《再掲》
観光関連の行事や催し物の主催者に対する環境配慮行動の実践の促進を検討します。	○札幌市が後援する事業について、北海道エコイベント指針等を参照し、環境に配慮した事業の実施に努めるよう呼びかけました。
③環境産業の振興と人材育成【目標削減量：－】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
積雪寒冷地における環境関連技術の研究開発や事業化を支援します。	○『札幌型環境（エネルギー）製品・技術開発支援事業』にて、技術・製品開発の取組に対して支援を行いました。 【支援実績】5件
札幌版省エネ技術の普及拡大に向けた人材育成を推進します。	○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、『事業者向け省エネルギー技術講座・実地講座』は実施を見送りました。《再掲》
○今後検討が必要な取組についての状況	
積雪寒冷地における環境関連技術を活用した製品化や事業化のさらなる支援について検討します。	○『札幌型環境（エネルギー）製品・技術開発支援事業』にて、技術・製品開発の取組に対して支援を行いました。《再掲》 【支援実績】5件
積雪寒冷地における運用改善技術の産業化によって、さまざまな企業への普及拡大を図り、省エネと環境産業の振興を進めます。	○「省エネの顧客となる市内事業者」と「省エネの担い手となる市内施工業者」を繋ぐ省エネルギーの総合窓口（令和元年度まで運営事業者に対する支援を実施）にて受注し、3件の省エネルギー施工を行いました。《再掲》

取組内容	令和2年度の結果
(3) 運輸	
①次世代自動車の導入【目標削減量：約71万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
電気自動車やハイブリッド自動車などの導入に対する補助制度を運用し、次世代自動車の普及を推進します。	○『札幌市次世代自動車購入等補助制度』にて、電気自動車（EV）や燃料電池自動車（FCV）などの次世代自動車を導入する市民・事業者に対して、補助を行いました。 ○自立分散型電源の導入促進のため、EVとV2Hを同時購入した場合の補助額を上乘せしました。 【補助実績】 電気自動車（EV）：44台 燃料電池自動車（FCV）：1台 ハイブリッド自動車（HV）：10台
電気自動車の充電設備設置に対する補助制度を運用し、設置を促進します。	○『札幌市次世代自動車購入等補助制度』にて、電気自動車等と住宅との間で相互に電力を供給できる充電設備（ビークル・トゥー・ホーム：V2H）を導入する市民・事業者に対して、補助を行いました。 ○市民に加え、事業者もV2Hの補助対象としました。 【補助実績】 ビークル・トゥー・ホーム（V2H）：19台
○今後検討が必要な取組についての状況	
さらなる次世代自動車への転換を図るため、燃料電池自動車への導入補助、燃料電池自動車に係る水素充填設備の設置補助などの検討を進めます。	○『札幌市次世代自動車購入等補助制度』にて、燃料電池自動車（FCV）を導入する市民・事業者に対して、補助を行いました。《再掲》 【補助実績】 燃料電池自動車（FCV）：1台 ○水素充填設備の設置補助について検討を行いました。 ○その他、次の取組を行いました。 ・公用車の燃料電池自動車（FCV）をオンラインイベント等で展示し、水素エネルギーや災害時等の非常用電源としての有用性をPRしました。 ・札幌市ホームページにて、FCVを率先導入した企業や官公庁の事例を紹介しました。

取組内容	令和2年度の結果
②エコドライブの推進【目標削減量：約3万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
運転解析機器の貸出や運転シミュレーターによる体験会の開催などを通じた、運転の見える化により、エコドライブの実践を支援します。	○「環境広場さっぽろ2020 バーチャルツアー」における仮想出展ブースでエコドライブに関する動画やポスターを展示しました。 【環境広場さっぽろ来場者(アクセス回数)】19,806
事業者向けにエコドライブの手法や指導方法を学べる講習会を開催し、活動の定着を図ります。	○「環境広場さっぽろ2020 バーチャルツアー」における仮想出展ブースでエコドライブに関する動画やポスターを展示しました。《再掲》 【環境広場さっぽろ来場者(アクセス回数)】19,806
○今後検討が必要な取組についての状況	
エコドライブの実践率を向上させるための効果的な働きかけについて、検討します。	○「環境広場さっぽろ2020 バーチャルツアー」における仮想出展ブースでエコドライブに関する動画やポスターを展示しました。《再掲》 【環境広場さっぽろ来場者(アクセス回数)】19,806
過度な自動車の利用を減らし、目的に応じて徒歩や自転車、公共交通など多様な移動手段を使い分けることを推進するための取組を検討します。	○札幌市内小学生を対象とした交通環境学習を継続実施しました。
③公共交通の利用促進【目標削減量：－】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
公共交通に対する市民の意識醸成などにより、公共交通の利用を促進します。	○札幌市内小学生を対象とした交通環境学習を継続実施しました。《再掲》
地下鉄、バス及び路面電車などの利便性向上により、使いやすい公共交通体系を確立します。	○路面電車既設線の制振軌道化、低床車両の導入、ノンステップバス及びユニバーサルデザイン(UD)タクシー導入補助などを通じ、利便性向上に向けた取組を実施しました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
公共交通の利便性向上の検討を進めます。	○札幌周辺公共交通案内(さっぽろえきバスナビ)に、バスの現在位置や到着予想時刻がわかるバスロケーション機能を追加しました。

取組内容	令和2年度の結果
(4) みどり	
① みどりの保全【目標削減量：－】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
計画的な森林の保全を推進します。	○森林2.7ha（南区南沢）を公有化し、南沢第二都市環境林として保全しました。 【都市環境林（予定）】37箇所 約1,736ha
生物多様性に配慮したみどりの保全を推進します。	○多様な生物の生息地である湿地や湖沼、森林の情報について、管理事務所及びホームページ上で発信しました。 ○子どもの活動を含む3つの市民団体との協働により、在来種の分布調査と観察会を実施し、みどりの保全に係る教育や普及啓発に努めました。 【在来種の分布調査】年53回（参加者数のべ373人） 【観察会】年10回（参加者数のべ79人） ○市民協働による特定外来生物の調査・駆除、植物の復元活動と並行して、小規模湿地を湿生生物の観察エリアとして整備・観察を行いました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
二酸化炭素の吸収源となる森林の機能を保全するため、効率的な森林管理や間伐材などの有効活用について検討します。	○白旗山都市環境林で間伐を実施し、製材用材・パルプ用材として、間伐材の売り払いを行ったほか、施設の暖房用の薪や木製ベンチとして活用しました。 ○都市環境林管理方針に基づき、有明都市環境林での間伐を実施し、森林の保全を図りました。
② みどりの創出【目標削減量：－】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
市民や企業と連携して、植樹などのみどりづくりを推進します。	○さっぽろタウンガーデナーや公園ボランティアなどへの登録者を募集し、市民や団体との協働によるまちづくりを推進しました。 ○市民参加型の育樹体験イベントの開催や、企業や団体との協定、森林ボランティア制度などにより、みどりづくりを推進しました。
再開発などによる民有地の緑化を促進します。	○市街地再開発事業等においては「札幌市緑の保全と創出に関する条例」に定める緑化率を3割上回る事業計画であることを要件として定めています。令和2年度は、北8西1地区第一種市街地再開発事業が建築工事に着手したほか、苗穂駅北口西地区優良建築物等整備事業が完了しました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
効果的な緑化を推進するための取組を検討します。	○室内温度上昇を抑え省エネ効果のある緑のカーテンを推進しました。 ○児童会館や保育園などの公共施設で緑のカーテンを実施し、市民への緑化啓発を図りました。 ○区役所など全3の公共施設で、自立式壁面緑化パネルを利用した室内緑化を実施し、市民への緑化啓発を図りました。

取組内容	令和2年度の結果
③みどりの活用【目標削減量：－】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
ペレットストーブの普及拡大などによる木質バイオマスの活用を推進します。	○『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、木質バイオマスストーブを導入する市民に対して補助を行いました。 【補助実績】 木質バイオマスストーブ：65件
○今後検討が必要な取組についての状況	
木質バイオマスの地産地消などによるさらなる活用に向けた近郊市町村との連携について検討します。	○北海道庁を中心として、木質バイオマスの最新動向や導入実態に関する情報交換を行いました。 ○北海道産木材の札幌市内・市内近郊における普及展開に向けて、庁内関係部局や関係団体等（北海道庁、北海道木材産業協同組合連合会等）と情報交換を行いました。
(5) 廃棄物	
①ごみの減量・リサイクル促進【目標削減量：約1万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
水切りや堆肥化などによる生ごみの減量を推進します。	○ごみ減量キャンペーン（食品ロスの削減や生ごみの水切りなどの啓発）を実施しました。 ○生ごみ堆肥の作り方、使い方を解説する家庭菜園講座等を開催しました。 【開催実績】40回 ○生ごみ堆肥化器材や電動生ごみ処理機を購入する市民に対して助成を行いました。 【助成実績】 生ごみ堆肥化器材：461個 電動生ごみ処理機：305台
容器包装プラスチックの減量資源化を促進します。	○ごみ減量キャンペーン（動画放映、ポスター掲出、パンフレット配布、facebookによる情報発信）、出前講座、クリーンミーティング等において、容器包装プラスチックの排出抑制・適正排出について啓発を行いました。 ○市公式ホームページに写真を用いた容器包装プラスチックの出し方のポイントを掲載するとともに、リチウムイオン電池等を使用した電子機器等の混入防止を呼びかけました。
廃棄物系バイオマスリサイクルの調査研究を進めます。	○枝・葉・草の堆肥化を進め、農地利用の試験及び品質向上、生産量確保のための製造方法の検討を行いました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
ごみの減量リサイクルを促進する支援制度について検討します。	○集団資源回収による資源物の回収を促進するため、清掃事務所が町内会に対して必要に応じてコーディネートを行いました。 【コーディネート実施町内会数】17町内会 ○不動産管理会社等と連携し、共同住宅に古紙適正排出のポスター掲示を行い、市内転入者に対する啓発を行いました。
新たなリサイクル手法の導入について検討します。	○剪定枝や民間の間伐材を天日乾燥させることで、これらを原料とする木質チップの燃料としての利用拡大を図る方針を策定しました。

取組内容	令和2年度の結果
②廃棄物発電・熱利用の推進【目標削減量：約1万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
廃棄物発電や熱利用により、ごみ焼却時に発生するエネルギーを活用します。	○ごみの焼却時に発生する熱エネルギーを利用して、自家発電のほか、地域熱供給会社などに熱供給を行いました。自家発電については、工場の使用電力を賄うほか、余剰電力を電力会社に売却しました。
駒岡清掃工場の更新時にごみ焼却エネルギーをより効率的に回収するシステムを導入します。	○効率的なエネルギー回収システムの導入により、エネルギー供給拠点としての機能を高め、一次エネルギーの削減とそれに伴うCO2削減を図る更新計画を進めました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
廃棄物を活用した、より効率的な発電熱利用に向けた検討を進めます。	○駒岡清掃工場の更新時に、より効率的な発電・熱利用などを推進するための、更新計画を進めました。
(6) エネルギー	
①再エネ機器の普及・拡大【目標削減量：約43万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
太陽光発電やペレットストーブなどの再エネ機器の導入に対する補助制度により、機器の普及を推進します。	○『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、再エネ機器を導入する市民に対して補助を行いました。《一部再掲》 【補助実績】 -市民向け- 太陽光発電：317件（2,078kW） 木質バイオマスストーブ：65件 ○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件《再掲》
大規模太陽光発電をごみ埋立跡地などの未利用地や札幌近郊に積極的に誘致します。	○これまでに誘致を行った施設について、運用を行いました。《再掲》
屋根や土地所有者と太陽光発電設置業者を仲介するマッチング事業を推進します。	○札幌市ホームページにて、「土地・屋根貸し」を希望する土地・屋根所有者と、「土地・屋根借り」を希望する発電事業者に対し登録情報の提供を行いました。（実績なし）《再掲》
○今後検討が必要な取組についての状況	
太陽光発電の設置を促す義務的制度や導入支援制度、市民出資による設置について調査研究し、施策への反映について検討します。	○他都市の取組などの情報収集を行いました。
再生可能エネルギーの広域的な活用について、道内連携や近郊市町村との協議を進め、方向性を検討します。	○近隣市町村の再生可能エネルギーの活用について情報収集や意見交換を実施しました。

取組内容	令和2年度の結果
②分散電源の普及・拡大【目標削減量：約23万t-CO2】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
燃料電池、コージェネレーションシステムなど、分散電源の導入に対する補助制度の運用により、機器の普及を推進します。	○『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、再エネ機器を導入する市民に対して補助を行いました。《一部再掲》 【補助実績】 エネファーム：73件 定置用蓄電池：459件 ○『ゼロエネルギー・ビル、ゼロエネルギー・マンション設計支援補助金』にて、ZEB・ZEH-Mの設計を行った建築主に対して補助を行いました。 【補助実績】ZEB 3件、ZEH-M 1件《再掲》
省エネ再エネ機器に関する総合窓口を活用して、分散電源の導入費用や技術情報、補助制度などに関する情報提供を強化します。	○札幌市環境プラザにて、身近な生活の環境についての疑問から、環境問題や環境教育といった環境に関連する相談対応を行いました。 職員による環境相談：開館中対応 専門の相談員による環境相談：毎月第2・4木曜日（13:00～16:00） 【相談実績】38人 ○新型コロナウイルス感染症の影響のため、予定していた各種業界団体が実施する会議等での『再エネ省エネ機器導入補助制度』の説明会を中止しました。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、『再エネ省エネ機器導入補助制度』の募集期間外に環境広場さっぽろが開催されたため、普及啓発を中止しました。
○今後検討が必要な取組についての状況	
大規模事業者に対する分散電源の導入支援について、検討します。	○他都市の取組などの情報収集を行いました。
③エネルギーネットワークの強化【目標削減量：－】	
○目標達成に向けた主な取組の実施状況と今後の予定	
都心地区における熱と電力の面的利用ネットワークの将来像やまちづくりと一体となった実現手法などを総合的に調査検討し、都心エネルギー施策を策定します。	○都心エネルギー施策は令和元年度に策定済み。 ○都心エネルギープランに位置付けた各取組（7つのプロジェクト）について順次取組を進めています。
○今後検討が必要な取組についての状況	
都心の開発に合わせたエネルギー供給拠点及び熱導管ネットワークなどのインフラ整備と、ネットワークへの接続誘導策などについて検討します。	○札幌駅前通地下歩行空間への熱導管幹線整備や、都市開発において省エネ・省CO2ビルへの建替えを誘導する制度構築に向けた詳細検討を進めました。
効率的なエネルギーシステムを導入するモデル地区整備の支援について検討します。	○真駒内駅前地区の再編に係る検討や意見聴取の進捗状況を踏まえ、当該地区におけるスマートコミュニティの概要提示は次年度に実施することとなりました（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、検討会等の実施予定の見直しがありました）。

●札幌市エネルギービジョンにおける目標の達成に向けた取組結果

取組内容		令和2年度の結果
(1) スマートな省エネルギーの実践		
重点取組1 省エネ型ライフスタイルの定着		
■省エネ意識の醸成（教育、キャンペーン）		○市立の全小中学校に『エコライフレポート』を配付し、夏休み・冬休みにおけるエコ行動の取組を推進しました。 【レポート提出枚数】 合計249,851枚 取組率：夏94.0%、冬93.9% ○札幌市環境プラザの窓口で、市民に対して「電力消費量の見える化機器」の貸出を行っています。 【貸出実績】0世帯
■効果的な省エネ技術の情報提供、省エネ診断の実施		○札幌市環境プラザにて、身近な生活の環境についての疑問から、環境問題や環境教育といった環境に関連する相談対応を行いました。 職員による環境相談：開館中対応 専門の相談員による環境相談：毎月第2・4木曜日（13:00～16:00） 【相談実績】38人 ○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、「札幌市う
■省エネ機器の導入支援		○市民向けの『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、再エネ・省エネ機器の導入に対して補助を行いました。 【補助実績】 太陽光発電：317件（2,078kW） エネファーム：73件 木質バイオマスストーブ：65件
■省エネ技術の率先導入・成果の発信		○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、『事業者向け省エネルギー技術講座・実地講座』は実施を見送りました。
重点取組2 建物・住まいの省エネ化の推進		
■札幌版次世代住宅の普及啓発・導入支援		○『札幌版次世代住宅補助制度』にて、札幌版次世代住宅を新築した市民に対して補助を行いました。 【補助実績】33件[3月31日時点]
■既設住宅の省エネ改修の支援		○『札幌市住宅エコリフォーム補助制度』にて、省エネリフォーム工事（窓、断熱）を行った市民に対して補助を行いました。

取組内容		令和2年度の結果
(2) 再生可能エネルギーの最大限活用		
重点取組3 太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入拡大		
■再生可能エネルギーの導入支援・情報提供		○市民向けの『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、再エネ・省エネ機器の導入に対して補助を行いました。 【補助実績】 太陽光発電：317件（2,078kW） エネファーム：73件 木質バイオマスストーブ：65件 《再掲》
■市有施設への太陽光発電の積極的な導入		○陵陽中学校へ太陽光発電設備を導入しました。 ・太陽光発電設備の導入容量：5.5kW ○これまでの市有施設へ設置件数は210件（設置容量3,028kW）となっており、市立学校では約半数以上に設置し
■相談窓口設置、マッチング事業の推進		○札幌市ホームページにて、「土地・屋根貸し」を希望する土地・屋根所有者と、「土地・屋根借り」を希望する発電事業者に対し登録情報の提供を行いました。（実績なし）
■市有施設への多様な再生可能エネルギー機器の導入		○下水熱の利用促進に向けて、下水熱紹介用のパンフレットを作成し、札幌市下水道ポテンシャルマップ（中央区版）と併せて広報しました。
重点取組4 札幌型産業の創出と技術開発		
■札幌発の技術開発を支援		○『札幌型環境（エネルギー）製品・技術開発支援事業』にて、技術・製品開発の取組に対して支援を行いました。 【支援実績】5件
■関連システムや機器の導入促進による環境産業の振興		○札幌市が支援し創設した省エネルギーの総合窓口を通じて、3件の省エネルギー施工を行いました。
■バイオマスエネルギーの開発・製造促進		○木質バイオマスストーブ65台の導入費用の一部補助を行いました。
(3) 分散型エネルギー供給拠点の創出		
重点取組5 コジェネ・燃料電池・蓄電池の導入拡大		
■分散電源の導入支援		○市民向けの『再エネ省エネ機器導入補助制度』にて、再エネ・省エネ機器の導入に対して補助を行いました。 【補助実績】 太陽光発電：317件（2,078kW） エネファーム：73件 木質バイオマスストーブ：65件
重点取組6 エネルギーネットワークの構築		
■都心地区におけるエネルギーネットワークの調査・検討		○「都心エネルギーマスタープラン」（2018年3月）、「都心エネルギーアクションプラン」（2019年12月）を策定し、取組を推進しています。
■都心地区におけるエネルギーネットワークの構築支援		○札幌駅前通地下歩行空間への熱導管幹線整備について事業者協働により詳細検討・調整支援を行いました。